

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-315874

(43)公開日 平成10年(1998)12月2日

(51)Int.Cl.<sup>8</sup>  
B 6 0 R 11/02

識別記号

F I  
B 6 0 R 11/02

T

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 11 頁)

(21)出願番号 特願平9-144556

(22)出願日 平成9年(1997)5月20日

(71)出願人 000227892

日本アンテナ株式会社

東京都荒川区西尾久7丁目49番8号

(72)発明者 新海 崇嘉

埼玉県蕨市北町4丁目7番4号 日本アンテナ株式会社蕨工場内

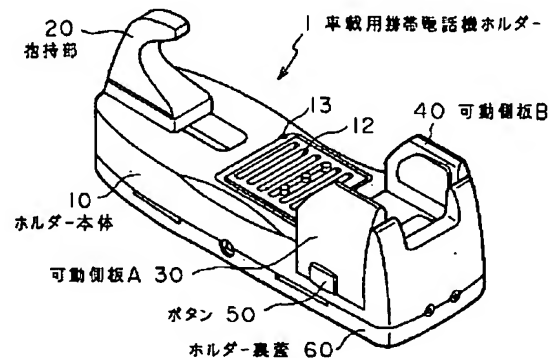
(74)代理人 弁理士 浅見 保男 (外1名)

(54)【発明の名称】 車載用携帯電話機ホルダー

(57)【要約】

【目的】種々のサイズの携帯電話機を容易に取り付けられるようにする。

【構成】携帯電話機の頭部を抱持するフック状の抱持部20はホルダー裏蓋60の下からビスを緩めることにより上下にスライド可能となる。携帯電話機の両側部を保持する可動側板A30、可動側板B40も同様にビスを緩めることにより、左右にスライド可能となる。また、ボタン50を押し込むように操作すると、可動側板A30が外方向にスライドし、携帯電話機をホルダー本体10に対して容易に取り付け、あるいは取り外しすることができる。この可動側板A30を内側に押し込むことにより、ロック状態となり携帯電話機を保持することができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話機が載置されるホルダー本体と、

該ホルダー本体の両側部に設けられた携帯電話機の両側部を保持する一対の可動板からなり、該一対の可動板の互いの間隔を携帯電話機の幅に応じてスライド可能とされた可動側板と、

前記可動側板における携帯電話機の保持方向と略直交する方向において、前記ホルダー本体に設けられている規制部との間で携帯電話機を抱持する前記ホルダー本体に対してスライド可能に設けられた抱持部と、

前記可動側板における前記一対の可動板により携帯電話機を保持している保持状態を、解放状態となるよう解錠制御するロック解除手段を備えることを特徴とする車載用携帯電話機ホルダー。

【請求項2】 スライド可能とされた前記一対の可動板における一方の可動板Aの下面から係止部が突出するようにバネにより付勢された係止子と、  
携帯電話機の幅に応じてスライドされて前記ホルダー本体に固着された係止台とをさらに備え、

該係止台の上面は前記可動板Aの下面が摺動する面とされ、該上面に前記係止部が係止される第1のロック部と第2のロック部とが前記係止台のスライド方向に離隔されて形成されており、携帯電話機を保持した状態においては、前記第1のロック部に前記係止部が係止され、前記係止台のスライド方向に移動可能にされた前記ロック解除手段により解錠制御されたときに、前記第1のロック部から前記係止部が解錠されて前記第2のロック手段に前記係止部が係止されて前記解放状態になるように、前記可動板Aがバネにより付勢されていることを特徴とする請求項1記載の車載用携帯電話機ホルダー。

【請求項3】 前記第1のロック部より第2のロック部の高さが高く形成されており、前記ロック解除手段が前記スライド方向に移動するよう操作された時に、前記ロック解除手段に形成されたテーパー部により前記係合部が押圧されて第1のロック部に係止された前記係合部が解錠されることを特徴とする請求項2記載の車載用携帯電話機ホルダー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、種々のサイズの携帯電話機を自動車に保持できるようにした車載用携帯電話機ホルダーに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】携帯電話機を自動車内において保持するようにした携帯電話機のホルダーが従来から種々提案されている（実用新案登録番号第3004357号、実用新案登録番号第3017540号、実用新案登録番号第3020187号参照）。これらの携帯電話機のホルダーは、専用ホルダーといわれる特定の携帯電話機に特化

したホルダーと、汎用ホルダーといわれる種々のサイズの携帯電話機用のホルダーとが存在している。

## 【0003】

【発明の解決しようとする課題】専用ホルダーは、当該携帯電話機を確実に保持することができるが、携帯電話機を替えるとサイズが異なるようになり、専用ホルダーは互換性がないことからホルダーも交換しなければならないという問題点がある。また、汎用ホルダーは、携帯電話機を替えても互換性があることからホルダーを交換する必要はないが、携帯電話機の両サイドを保持するだけの構造とされているため確実に保持することが困難であった。

【0004】そこで、本発明は種々のサイズの携帯電話機を確実に保持することができる車載用携帯電話機ホルダーを提供することを第1の目的としている。さらに、本発明は保持状態とされた携帯電話機をワンタッチで保持を解除して携帯電話機を取り出すことのできる車載用携帯電話機ホルダーを提供することを第2の目的としている。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記第1の目的を達成することのできる本発明の車載用携帯電話機ホルダーは、携帯電話機が載置されるホルダー本体と、該ホルダー本体の両側部に設けられた携帯電話機の両側部を保持する一対の可動板からなり、該一対の可動板の互いの間隔を携帯電話機の幅に応じてスライド可能とされた可動側板と、前記可動側板における携帯電話機の保持方向と略直交する方向において、前記ホルダー本体に設けられている規制部との間で携帯電話機を抱持する前記ホルダー本体に対してスライド可能に設けられた抱持部と、前記可動側板における前記一対の可動板により携帯電話機を保持している保持状態を、解放状態となるよう解錠制御するロック解除手段を備えるようにしている。

【0006】また、上記第2の目的を達成することのできる本発明の車載用携帯電話機ホルダーは、スライド可能とされた前記一対の可動板における一方の可動板Aの下面から係止部が突出するようにバネにより付勢された係止子と、携帯電話機の幅に応じてスライドされて前記ホルダー本体に固着された係止台とをさらに備え、該係止台の上面は前記可動板Aの下面が摺動する面とされ、該上面に前記係止部が係止される第1のロック部と第2のロック部とが前記係止台のスライド方向に離隔されて形成されており、携帯電話機を保持した状態においては、前記第1のロック部に前記係止部が係止され、前記係止台のスライド方向に移動可能にされた前記ロック解除手段により解錠制御されたときに、前記第1のロック部から前記係止部が解錠されて前記第2のロック手段に前記係止部が係止されて前記解放状態になるように、前記可動板Aがバネにより付勢されている。

【0007】さらに、上記車載用携帯電話機ホルダーに

において、前記第1のロック部より第2のロック部の高さが高く形成されており、前記ロック解除手段が前記スライド方向に移動するよう操作された時に、前記ロック解除手段に形成されたテーパ部により前記係合部が押圧されて第1のロック部に係止された前記係合部が解錠されるようにしてもよい。

【0008】このような本発明によれば、車載用携帯電話機ホルダーが携帯電話機の両側部を保持するスライド可能な可動側板と、携帯電話機の長さ方向の側部を抱持するスライド可能な抱持部とを備えているため、携帯電話機のサイズが変更されても左右および上下方向から携帯電話機を保持することができ、確実に携帯電話機を固定することができる。また、ロック解除手段を操作すると可動側板が保持状態から解錠されて解放状態となるため、ワンタッチで携帯電話機をホルダーから取り出すことができるようになる。

【0009】

【発明の実施の形態】本発明の車載用携帯電話機ホルダーの実施の形態の斜視図を図1および図2に、本発明の車載用携帯電話機ホルダーにより携帯電話機を保持する際のサイズ調整方法を図3に、本発明の車載用携帯電話機ホルダーに携帯電話機を取り付ける方法を図4および図5に、本発明の車載用携帯電話機ホルダーのケーブル接続方法を図6に示し、これらの図を参照しながら本発明の車載用携帯電話機ホルダーの概要を以下に説明する。

【0010】本発明の車載用携帯電話機ホルダー1は図1および図2に示すように、ホルダー本体10と、ホルダー本体10にスライド可能に固定されると共に、ホルダー本体10上に携帯電話機が載置された際に、その頭部を抱持するフック状の抱持部20と、ホルダー本体10上に携帯電話機が載置された際に、その両側部を保持する一対の可動側板A30、可動側板B40を備えている。なお、可動側板A30、可動側板B40はホルダー本体10にスライド可能に固定することができ、特に、可動側板A30はボタン50を操作したときに、外方向に移動して携帯電話機を保持状態から解放状態とすることができるようにされている。

【0011】また、ホルダー本体10の下面にはホルダー裏蓋60が取り付けられており、ホルダー本体10内には、例えば低周波アンパやスピーカからなるハンズフリーユニットが内蔵されている。さらに、ホルダー本体10の上面にはスピーカからの音を放音するスピーカ孔12や電源表示ランプ13が設けられている。さらにまた、ホルダー本体10の側面にはスピーカから放音される音量を調整する音量調整ボリューム11が設けられ、音量を調整することができるようにされている。

【0012】ホルダー本体10上に設けられている抱持部20には、図3に示すようにホルダー裏蓋60の下面からホルダー本体10を挿通して抱持部固定ビス61が

螺着されることによりホルダー本体10に固定されている。そして、抱持部固定ビス61が長孔状の調整孔62に係合されていることから、抱持部固定ビス61をドライバー63により緩めると抱持部20を調整孔62に沿ってスライドすることができる。これにより、ホルダー本体10上に載置された携帯電話機の長さに応じて抱持部20の位置を調整することができる。なお、抱持部20の位置を調整した後は、ドライバー63により抱持部固定ビス61を締着して抱持部20をホルダー本体10に固定する。

【0013】また、図3に示すように可動側板A30はホルダー裏蓋60の下面から挿通された側板固定ビス66-1を緩めることにより、長孔状の調整孔64に沿ってスライド可能とされており、可動側板B40はホルダー裏蓋60の下面から挿通された固定ビス66-2を緩めることにより、長孔状の調整孔65に沿ってスライド可能とされている。可動側板A、Bのスライド方向は抱持部20と直交する方向とされて、ホルダー本体10の上に載置された携帯電話機の幅に応じて、その間隔を調整できるようにされている。

【0014】次に、携帯電話機100の取り付け方法を図4および図5を参照して説明するが、初めて携帯電話機100を車載用携帯電話機ホルダー1に取り付ける際には、あらかじめ抱持部固定ビス61、側板固定ビス66-1、66-2を緩めておく。そして、携帯電話機100の頭部を抱持部20に係合するようにしながらホルダー本体10上に携帯電話機100を載置する。次いで、前述のように携帯電話機100の長さに応じて抱持部20をスライドさせて、抱持部20に携帯電話機100の頭部が当接するようにして、抱持部固定ビス61を締着する。そして、可動側板A30および可動側板B40をスライドさせて、ホルダー裏蓋60の下面から側板固定ビス66-1、66-2を締着する。

【0015】これにより、携帯電話機100を車載用携帯電話機ホルダー1に取り付けることができる。なお、取り付けした携帯電話機100を車載用携帯電話機ホルダー1から取り外す際には、ボタン50を押すように操作する。すると、後述する構成により可動側板A30が外側にスライドし、携帯電話機100を容易に取り外すことができるようになる。また、再度携帯電話機100を車載用携帯電話機ホルダー1に取り付ける際には、あらかじめ可動側板A30の下部に設けられたボタン50を操作して可動側板A30を外側にスライドさせておく。この状態において、ホルダー本体1上に携帯電話機100を載置して可動側板A30を押圧することにより、可動側板A30が内側にスライドしてロックされる。これにより、携帯電話機100の両側部を可動側板A30、可動側板B40により保持することができると共に、その頭部は抱持部20に保持されるようになる。

【0016】次に、本発明の車載用携帯電話機ホルダー

1へのケーブル接続方法を図6を参照しながら説明するが、ホルダー本体10の側面には電源ジャック71が取り付けられており、この電源ジャック71に電源ケーブル130の先端に設けられたプラグ132を接続することにより、シガープラグ131および電源ケーブル130を介して自動車から電源を受けることができる。また、マイクジャック72にプラグ122を接続することにより、自動車のサンバイザーやハンドルの基部等に取り付けたマイク121からの信号をマイクケーブル120を介して入力することができる。さらに、イヤホンプラグ73にプラグ111を接続することにより、携帯電話機100のイヤホン端子101から出力される受話音を入力することができる。これらの入力された信号は、ホルダー本体10ないに内蔵された図示しないハンスフリーユニットに入力される。

【0017】これにより、携帯電話機100を車載用携帯電話機ホルダー1に取り付けたまま携帯電話機を使用することができるようになる。すなわち、受話音はホルダー本体10に設けられたハンスフリーユニットでアンプされてスピーカ孔12から放音され、送話音はマイク121で拾われて、ハンスフリーユニットを介して携帯電話機100に伝達されるようになる。なお、車載用携帯電話機ホルダー1はホルダー本体10とホルダー裏蓋60との境界にベルトを挿通する挿通孔が2カ所形成されており、このベルト挿通孔にベルトを挿通してベルトにより自動車のコンソールを抱持することにより、車載用携帯電話機ホルダー1をコンソール等に取り付けることができる。

【0018】次に車載用携帯電話機ホルダー1の詳細構成を図7ないし図12を参照して説明する。図7はホルダー本体10にスライド可能に固定される可動側板A30および可動側板B40の詳細構成を上から見た斜視図を示す。この図に示すように、ホルダー本体10には携帯電話機100の下端が当接される規制片14が一体に立設されており、この規制片14の内側に上蓋取付受16-1が形成されている。さらに、この上蓋取付受16-1と対向するように、略可動側板A30、B40の幅だけ離隔されて上蓋取付受16-2が形成されている。この一對の上蓋取付受16-1、16-2にはそれぞれビス孔が形成されており、このビス孔には可動側板A30をスライドガイド部42によりスライド可能に保持する上蓋43を取り付ける4本の固定ビス44が取り付けられる。なお、一對の上蓋取付受16-1、16-2にはガイド部嵌合凹部17-1、17-2がそれぞれ形成されている。

【0019】また、ホルダー裏蓋60に形成された調整孔65に連通している調整孔15-2を通して、前記した側板固定ビス66-2が可動側板B40に螺着されることにより、可動側板B40がホルダー本体10の所定位置に固定される。さらに、ホルダー裏蓋60に形成さ

れた調整孔64に連通している調整孔15-1を通して、前記した側板固定ビス66-1が係止台80に螺着されることにより、係止台80がホルダー本体10の所定位置に固定される。この係止台80には可動側板A30をロックするロック手段が設けられており、使用状態においては可動側板A30が係止台80にロックされて、可動側板A30と可動側板B40とにより携帯電話機100の両側部を保持している。なお、携帯電話機100に当接する可動側板A30と可動側板B40の部分には緩衝材41が設けられている。

【0020】そして、ボタン50を操作することにより、可動側板A30が係止台80から解錠されて外方向に自動的にスライドするようにされている。この詳細構成を以下に詳述する。図8に、可動側板A30に関する構成を下から見た斜視図を示す。この図に示すように、可動側板A30の保持面から突出するように、上蓋43の下面に形成された一對のスライドガイド部42-1、42-2内を摺動する平面状のスライド部32が形成されている。このスライド部32の下面には係止子90の一端に形成された回転軸である枢支部91を受ける軸受溝36と、係止子90の他端に形成された係止部92が収納される係止部収納溝37が形成されている。さらに、係止部収納溝37内には係止部92を係止部収納溝37から突出させる方向に付勢する第2のバネ95が収納されるバネ収納孔35が形成されている。さらにまた、後述する第3のバネが収納されるバネ収納溝34も形成されている。

【0021】図9に可動側板B40の構成と、係止台80の詳細構成を示す。図9に示すように、可動側板B40の保持面から直交する方向へ第1の突出片43と第2の突出片44とが突出形成されている。この第1の突出片43の上面には係止台80から突出形成された摺動片85が重合されて摺動可能とされ、第2の突出片44には固定ナット42が設けられている。この固定ナット42には、前述した側板固定ビス66-2が螺合されて、ホルダー本体10の所定位置に可動側板B40が固定される。また、係止台80の上面にはバネ規制子82が突出して形成されていると共に、固定ナット81が設けられている。この固定ナット81には、前述した側板固定ビス66-1が螺合されて、ホルダー本体10の所定位置に係止台80が固定される。なお、後述するがバネ規制子82は、前記スライド部32の下面に形成されているバネ収納溝34内に収容される。

【0022】さらに、係止台80の上面には十字状の切欠溝86が形成されており、この切欠溝86を利用してロック部A83が形成されている。このロック部A83には、前述した係止子90に形成されている係止部92に係合するようにされている。ただし、ロック部A83に係止部92に係合している状態は、携帯電話機100が可動側板A30および可動側板B40により保持され

ている状態である。また、係止台80に形成されている切欠溝86にボタン50に一体に形成されている延設部52を導くための挿通孔87が、係止台80の一端縁に形成されている。そして、挿通孔87の形成されている部分は若干高くされており、この高さを利用してロック部B84が形成されている。

【0023】このロック部84には、前述した係止子90に形成されている係止部92に係合するようにされている。ただし、ロック部B84に係止部92に係合している状態は、ボタン50が操作されて可動側板A30の保持状態が解錠され、携帯電話機100が解放された状態である。また、ボタン50から延設された延設部52の周囲には第21のバネ51を介在させて、前記挿通孔87に挿通される。そして、第2のバネ51により付勢されても延設部52が挿通孔87から抜け出ないように、ビス88が延設部52に形成されているビス孔53に螺着される。これにより、ボタン50は常に外方へ向かって付勢されるようになる。

【0024】次に、係止子90と係止台80に形成されたロック部A83とロック部B84との関係を図10に示す。ただし、図10においては係止子90は係止台80に対して略90°回転して示している。係止子90に形成されている係止部92には、ロック部A83あるいはロック部B84に係合する一対の係合部94-1、94-2が形成されていると共に、この係合部94-1、94-2の間には第1のテーパ部93が形成されている。また、係止子90は前述したように枢支部91を回転中心として係止部92が回転するようにされている。さらに、係止部92は第2のバネ95により時計方向に回転するよう付勢されている。

【0025】従って、係止台80の上に可動側板A30に形成されているスライド部32を重合するようにした状態においては、スライド部32は、ホルダー本体10に4本の固定ビス44により固定されたスライドガイド部43と、ホルダー本体10に側板固定ビス66-1により固定された係止台80とにより形成された空間内をスライド可能とされる。この際に、係止子90の係止部92が時計方向に付勢されていることから、可動側板A30が内側にスライドされて係止部92が係止台80に形成された切欠溝86の位置にきたときに、この切欠溝86内に収納されるようになる。さらに、可動側板A30は後述するようにバネ収納孔34内に収納された第3のバネにより外方へ付勢されているので、係止部92の一対の係合部94-1、94-2はロック部A83に係合するようになる。この状態が、可動側板A30を内側にスライドして携帯電話機100を保持するようロックされた状態である。

【0026】また、携帯電話機100が保持されてロックされた状態から、可動側板A30を解錠するには、ボタン50を第2のバネ51に抗して押し込むようにす

ると、延設部52から先端部55にかけて形成された第2のテーパ部54が、係止子90の係止部92に形成されている第1のテーパ部93に当接していき、係止部92が第2のバネ95に抗して上昇し、係止部収納溝37内に押し込まれるようになる。これにより、係止子90に形成されている係合部94-1、94-2と、係止台80に形成されたロック部A83との係合状態が解錠されて、可動側板A30が後述するバネ収納溝34内に収納された第3のバネの付勢力により、外側にスライドするようになる。

【0027】この際に、係止部92と共に係止台80の上面をスライドしていくようになるが、係止部92がロック部B84の位置に達すると、係合部94-1、94-2が第2のロック部84に係合するようになり、可動側板A30はそれ以上スライドしないようになる。この状態においては、可動側板A30と可動側板B40との間隔が広がっているため、携帯電話機100は解放状態となり、車載用携帯電話機ホルダー1から自由に取り出せる状態となる。

【0028】次に、図11と図12(A)(B)を参照して可動側板A30の保持状態と解放状態とをさらに説明する。なお、図11は可動側板A30と、可動側板B40と、係止台80との関係を示す図であり、図12(A)(B)はスライド部32の上面板の下位置から切断した断面を上から見た断面図である。ただし、図11における可動側板A30は略90°回転して示している。これらの図において、係止台80の上から上方へ突出形成されたバネ規制子82はスライド部32の下面に形成されたバネ収納溝34内に収納された第3のバネ33により内側に付勢されるように、バネ収納溝34内に配設される。

【0029】図12(A)にホルダー本体10上に載置された携帯電話機100を保持することのできる保持状態を示す。この保持状態においては、可動側板A30が内側にスライドされて、図12(A)に示すようにスライド部32に形成された係止部収納溝37内に収納された係止子90の係止部92がロック部A83に係合している状態である。この際には、スライド部32に形成されたバネ収納溝34内に収容されている係止台80の上面に形成されたバネ規制子82により、第3のバネ33がその付勢力に抗して圧縮されている。この状態においては、可動側板A30と可動側板B40との間隔が狭められているため、ホルダー本体10上に載置された携帯電話機100が確実に保持されている。

【0030】また、図12(B)には、可動側板A30が外側にスライドされて、可動側板A30と可動側板B40との間隔が広がられている解放状態が示されている。この解放状態にするには、図12(A)に示す保持状態において、ボタン50を第2のバネ51に抗して押し込むようにする。すると、前述したようにボタン5

0に形成された延設部52の第2のテーパ部54が、係止子90における係止部92の第1のテーパ部93に摺接して、係止部92を第1のバネに抗して係止部収納溝37内に押し込める。このため、係止部92の係合部94-1、94-2とロック部A83との係合状態が解錠されて、可動側板A30は圧縮状態の第3のバネ33の付勢力により外側にスライドするようになる。

【0031】そして、可動側板A30がスライドして係止部92が係止台90に形成されているロック部B84の位置にくと、係合部94-1、94-2がロック部B84に係合するようになる。これにより可動側板A30のスライドが停止されて、その状態が維持されるようになる。これらの動作は瞬時に行われ、この状態が図12(B)に示す解放状態である。この際には、図示するように第3のバネ33が伸張しており、可動側板A30を矢印で示す外側にスライドさせたことがわかる。また、係止子90の係止部92がロック部B84に係合している。この解放状態においては、可動側板A30と可動側板B40との間の間隔が広げられているので、ホルダー本体10上に携帯電話機100を載置して取り付け

ることができると共に、取り付けられている携帯電話機100を取り外すことができる。

【0032】以上説明したように、本発明の車載用携帯電話機ホルダー1は、携帯電話機100の頭部をフック状の抱持部20に係合するようホルダー本体10上に載置し、スライド可能な可動側板A30を内側にスライドさせるだけで携帯電話機100を車載用携帯電話機ホルダー1に確実に保持させることができる。また、携帯電話機100を車載用携帯電話機ホルダー1から取り外すときは、ボタン50を操作することによりワンタッチでスライド可能な可動側板A30を自動的にスライドさせることにより、携帯電話機100が解放状態となり容易に携帯電話機をホルダー本体10から取り外すことができる。

【0033】

【発明の効果】本発明は以上のように構成されているので、車載用携帯電話機ホルダーが携帯電話機の両側部を保持するスライド可能な可動側板と、携帯電話機の長さ方向の側部を抱持するスライド可能な抱持部とを備えるため、携帯電話機のサイズが変更されても左右および上下方向から携帯電話機を保持することができ、確実に携帯電話機を固定することができる。また、ロック解除手段を操作すると可動側板が保持状態から解錠されて解放状態となるため、ワンタッチで携帯電話機をホルダーから取り出すことができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の車載用携帯電話機ホルダーの実施の携帯の外観を示す左斜視図である。

【図2】本発明の車載用携帯電話機ホルダーの実施の携帯の外観を示す右斜視図である。

【図3】本発明の車載用携帯電話機ホルダーにおいて、携帯電話機のサイズに応じて調整する方法を示す図である。

【図4】本発明の車載用携帯電話機ホルダーに携帯電話機を取り付ける方法を説明するための図である。

【図5】本発明の車載用携帯電話機ホルダーに携帯電話機を取り付ける方法を説明するための図である。

【図6】本発明の車載用携帯電話機ホルダーへのケーブル接続方法を説明するための図である。

【図7】本発明の車載用携帯電話機ホルダーにおける可動側板とホルダー本体との詳細構成を示す図である。

【図8】本発明の車載用携帯電話機ホルダーにおける可動側板Aの詳細構成を示す図である。

【図9】本発明の車載用携帯電話機ホルダーにおける係止台とボタンとの詳細構成を示す図である。

【図10】本発明の車載用携帯電話機ホルダーにおける係止子と係止台との接合関係を示す詳細構成を示す図である。

【図11】本発明の車載用携帯電話機ホルダーにおける可動側板と係止台とボタンとの接合関係を示す詳細構成を示す図である。

【図12】本発明の車載用携帯電話機ホルダーにおける保持状態と解放状態との詳細構成を示す断面図である。

【符号の説明】

1 車載用携帯電話機ホルダー

10 ホルダー本体

11 音量調整ボリューム

12 スピーカ孔

13 電源表示ランプ

14 規制片

15-1, 15-2 調整孔

16-1, 16-2 上蓋取付受

17-1, 17-2 ガイド部嵌合凹部

20 抱持部

30 可動側板A

31 ボタン受凹部

32 スライド部

33 第3のバネ

34 バネ収納溝

35 バネ収納孔

36 軸受溝

37 係止部収納溝

40 可動側板B

41 緩衝材

42 スライドガイド部

43 上蓋

44 固定ビス

50 ボタン

51 第2のバネ

52 延設部

11

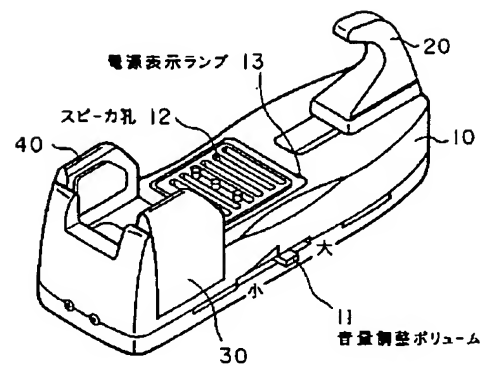
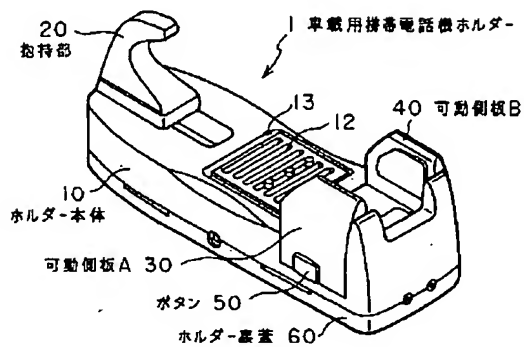
12

53 ビス孔  
 54 第2のテーパ部  
 55 先端部  
 60 ホルダ裏蓋  
 61 抱持部固定ビス  
 62 調整孔  
 63 ドライバー  
 64, 65 調整孔  
 66-1, 66-2 側板固定ビス  
 71, 72, 73 ジャック  
 80 係止台  
 81 固定ナット  
 82 バネ規制子

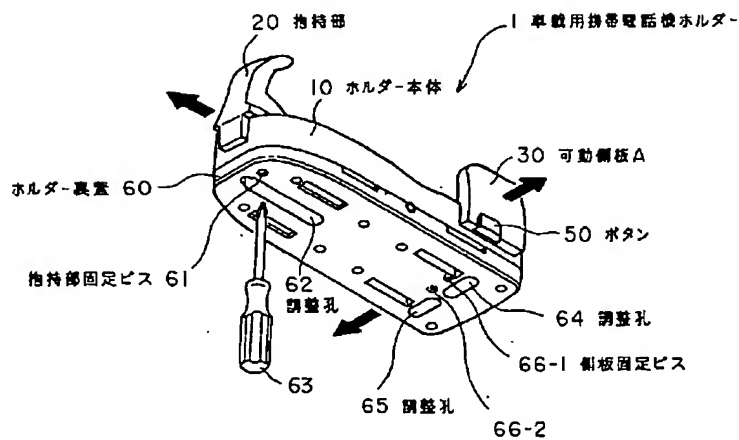
83 ロック部A  
 84 ロック部B  
 85 摺動片  
 86 切欠溝  
 87 挿通孔  
 88 ビス  
 90 係止子  
 91 枢支部  
 92 係止部  
 10 93 第1のバネ  
 94-1, 94-2 係合部  
 95 第1のテーパ部  
 100 携帯電話機

【図1】

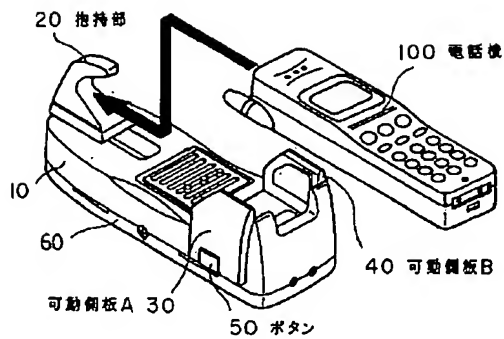
【図2】



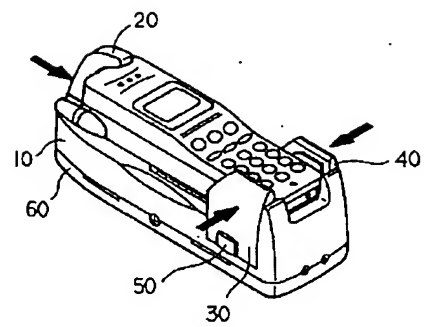
【図3】



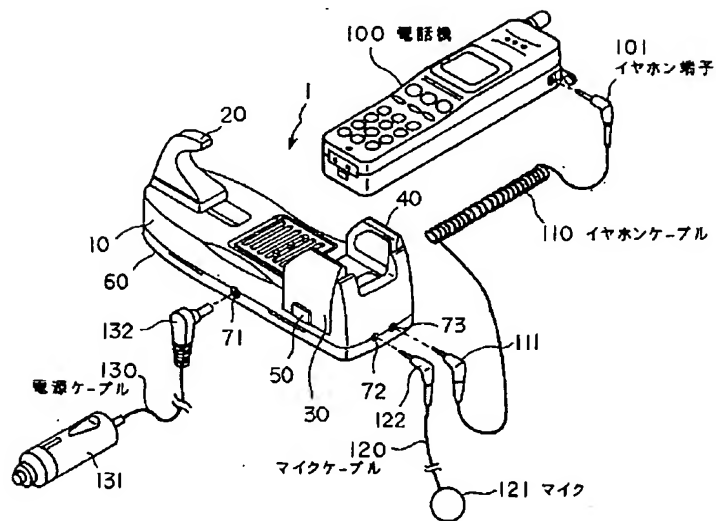
【図4】



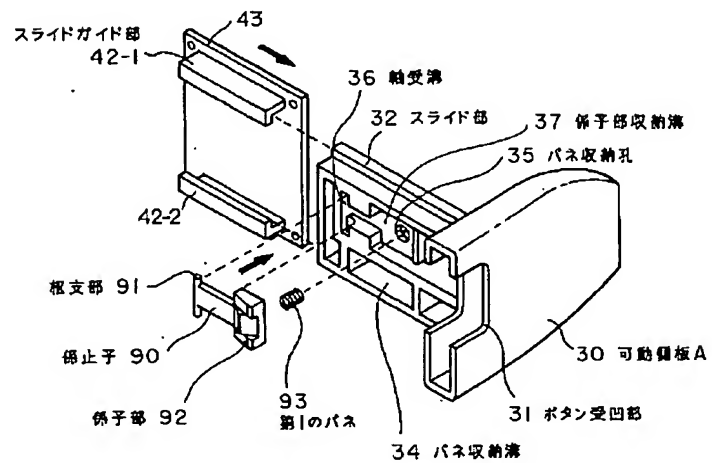
【図5】



【図6】

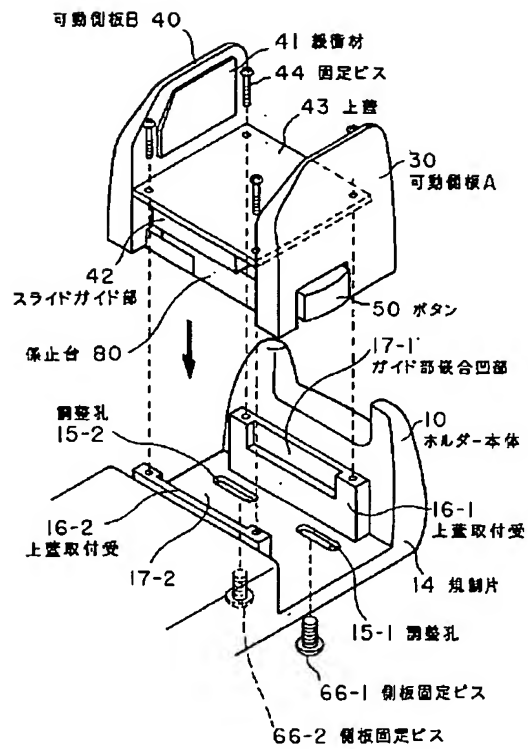


【図8】

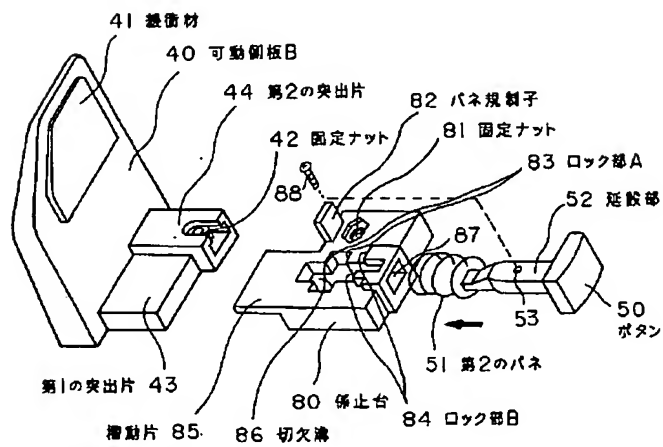




【図7】

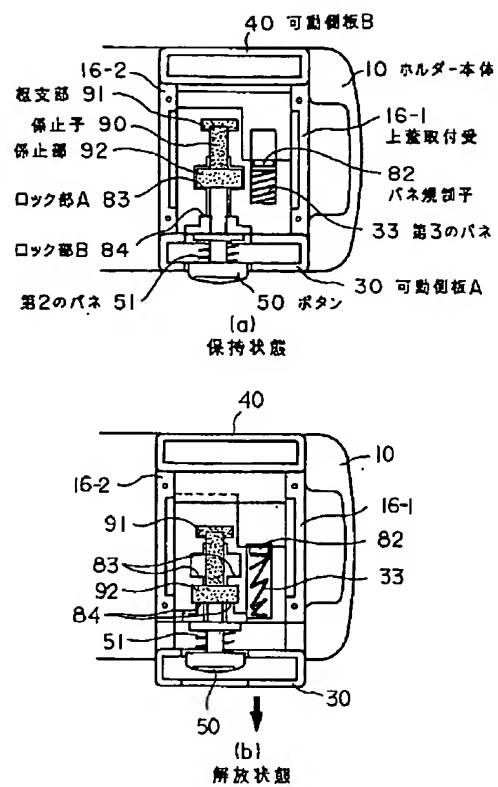


【図9】



[illegible]

【図12】



DERWENT-ACC-NO: 1999-075837

DERWENT-WEEK: 200009

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Vehicle-mounted portable telephone holder -  
has buttons that fix gripping positions of slidable side  
plates at side surfaces of portable telephone, and which  
is pushed to slide side plates outwards

PATENT-ASSIGNEE: NIPPON ANTENNA KK[NIANN]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0144556 (May 20, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 10315874 A	December 2, 1998	N/A
011 B60R 011/02		
KR 98086379 A	December 5, 1998	N/A
000 H04M 001/11		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 10315874A	N/A	1997JP-0144556
May 20, 1997		
KR 98086379A	N/A	1997KR-0047903
September 20, 1997		

INT-CL (IPC): B60R011/02, H04M001/11

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 10315874A

BASIC-ABSTRACT:

The holder (1) has a main body (10) provided with two slidable side plates (30,40) at its one end and a holding section (20) is formed at its other end.

The slidable side plates grip the side surfaces of a portable telephone, while the head of the portable telephone is hooked by the holding section, such that

the portable telephone is secured to the main body.

The gripping positions of the side plates are fixed by buttons (50). When the buttons are pushed, the side plates slide outwards to release the portable telephone.

ADVANTAGE - Ensures reliable securing of portable telephone having arbitrary size to holder due to slidable side plates. Simplifies detaching of portable telephone from holder.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/12

TITLE-TERMS: VEHICLE MOUNT PORTABLE TELEPHONE HOLD BUTTON FIX GRIP POSITION

SLIDE SIDE PLATE SIDE SURFACE PORTABLE TELEPHONE PUSH  
SLIDE SIDE  
PLATE OUTWARD

DERWENT-CLASS: Q17 W01

EPI-CODES: W01-C01A5; W01-C01D3C;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-055748